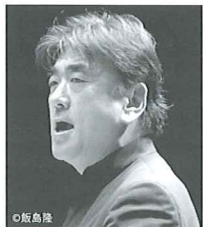


# PACシーズン・オープニング・フェスティバル in 明石

## 佐渡 裕「運命」

兵庫県立芸術文化センターの専属オーケストラ「兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC:パック)」が、9月から始まる新シーズンの最初に開催する「シーズン・オープニング・フェスティバル」は、世界中から集まったフレッシュなPACオーケストラのメンバーが、芸術監督の佐渡裕、そして特別にゲストに迎える国内外で活躍する経験豊かな一流奏者と共に贈る、スペシャル企画。公開リハーサルや市内各所でのミニ・コンサートなど、様々な音楽活動を、3日間にわたって明石で繰り広げます。

9月7日に明石市立市民会館で開催される成果披露コンサートでは、PACメンバーとゲスト奏者による室内楽演奏に加え、「運命」の名称で親しまれるベートーヴェンの名曲、交響曲第5番を佐渡監督の指揮でお贈りいたします。小編成アンサンブルから迫力満載のオーケストラ演奏まで、お楽しみが盛りたくさんの豪華コンサート。皆様のお越しを心よりお待ちしております！



**佐渡 裕** (指揮・芸術監督) Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。バリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年9月トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。18年5月にトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した10枚目のCD「バーンスタイン：交響曲第3番<カディッシュ>/弦楽のためのセレナード」を2018年12月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫)等。http://yutaka-sado.meetsfan.jp



**水島 愛子** (ヴァイオリン)  
Aiko Mizushima, Violin

中村太郎、鈴木鎮一、宗倫安各氏に師事。桐朋学園音楽大学卒業後、ウィーン国立音楽大学でEdith Steinbauer、Franz Samohyl、室内楽をAlfred Staar各氏に師事、同大学を最優秀で卒業。1971年ハイドン国際室内楽コンクール第1位、J.S.バッハ国際コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞。ニュールンベルク響、ミュンヘン室内合奏団を経て76年から2010年までバイエルン放送交響楽団第一ヴァイオリン奏者。18年3月まで東京音楽大学にて室内楽、オーケストラの客員教授を務めた。



**オイヴィン・ギムゼ** (チェロ)  
Øyvind Gimse, Cello

2002-17年トロンハイム・ソロイスツの芸術監督を務め、スカンジナビアで最も有名な室内管弦楽団に発展させた。その録音は7度グラミー賞にノミネート、2つのノルウェー・グラミー賞を獲得。ベルリン・フィルとの協働指導プログラム《KONSTKNEKT》主宰者。室内楽音楽祭《Vinterfestspill》メンバー。ノルウェーの様々な室内楽音楽祭に参加。ソリスト、指揮者としてフィンランド、イタリア、ロシアの他、特にスペインで活動。使用楽器はSparebankstiftelsen/Dextra Musicaより貸与のフランチェスコ・ゴフリラ(1730年製)。



**ウルリッヒ・ウォルフ** (コントラバス)  
Uirich Wolff, Contrabass

ベルリン芸術大学にてR.チェバリツ氏に師事。77年ベルリン・フィルに最年少入団(81年～85年のみシュトゥットガルト放送響首席)。アンサンブル・ベルリンのメンバー。ムジカ・アンティクワ・ケルン、コンチェルト・メランテ等で古楽器も演奏。ラルト指揮/セラズ演出「ヨハネ受難曲」「マイ受難曲」にてヴィオラ・ダ・ガンバを好演。世界各地でコントラバスとヴィオローネのマスタークラス開催。伊マラーノ・アカデミーにて後進指導にあたる。



**クリストフ・ハルトマン** (オーボエ)  
Christoph Hartmann, Oboe

アウクスブルクのレオポルト・モーツァルト音楽院にてゲオルク・フィッシャー氏に、ミュンヘン音楽大学にてギュンター・バッシン氏に師事、修士号取得。在学中よりシュトゥットガルト・フィルで活躍した後、1992年、ベルリン・フィル入団。1999年、ランツベルク夏の音楽祭を機にアンサンブル・ベルリンを結成。オーボエ奏者としてEMIと契約。2008年アルバムをリリース。ベルリン・フィルハーモニー・アカデミーにて後進指導にもあたっている。



**アンドレイ・ズスト** (ホルン)  
Andrej Žust, Horn

84年スロヴェニア生まれ。J.ポランツ氏、リュブリャナ音楽院にてB.リポフシェク氏、他にH.バウマン、F.R.ディクレ、V.マリシユ、R.ヴラトコヴィチら各氏に師事。04年5月スロヴェニア・フィル首席就任。グスタフ・マラーノ・ユークゲント管、PMFのメンバー。室内楽ではAriart Wind Quintet、リュブリャナ室内管ソロイスツ、トリオ・トリアンヴィラートに参加。09年2月～11年1月ベルリン・フィル・アカデミー奨学生。2011/12シーズンよりベルリン・フィルのホルン奏者。



**ハネス・ロイビン** (トランペット)  
Hannes Läubin, Trumpet

父の手ほどきにより9歳でトランペットを始める。フライブルク音楽大学にてR.ボーデンローダー氏に師事。北ドイツ放送響(現NDRエルブフィルハーモニー管)首席奏者を経て95年よりバイエルン放送響首席奏者。ミュンヘン音楽大学教授。メンバーであるジャーマン・プラスや、2人の兄弟と共にCD録音を多数行う。ヨーロッパの主要な音楽祭の他、ベネズエラのバッハ・アカデミーやオルガン・バッハ・フェスティバル等に参加。03年ミュンヘン国際コンクール審査員。



**ミヒャエル・ヴラダー** (ティンパニ)  
Michael Vladoar, Timpani

1962年ウィーン生まれ。モーツァルトテウム管弦楽団、カメラータ・アカデミカ・ザルツブルク、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスを経て、1990年よりウィーン交響楽団の首席ティンパニ奏者を務める。ウィーン・ヴィルトウオーゼンやウィーン室内管弦楽団をはじめ、2003年より名古屋を中心に日本各地で開催されるトヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーンに参画。11年、12年にはパシフィック・ミュージック・フェスティバルに講師として参加。



**兵庫芸術文化センター管弦楽団**  
Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元気文化園賞ニューパワー賞、11年神戸新聞平和賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。http://hpac-orc.jp



**ACCESS**

**アワーズホール・明石市立市民会館**  
TEL:078-912-1234 〒673-0883 明石市中崎1丁目3-1

電車をご利用の方 » JR、山陽電鉄明石駅より南東へ徒歩約15分  
バスをご利用の方 » 明石駅東側バスのりば「高架下13番のりば」より大蔵海岸方面に乗り、「明石市役所前」下車

※ 明石市立市民会館専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

PACメンバーによる  
ミニ・コンサートのお知らせ

2019年9月6日(金)19時～  
下記4会場で開催(入場無料)

- ①あかし市民広場 (18時～明石フィル・ジュニアオケ)
- ②明石市立西部市民会館ロビー
- ③岩屋神社
- ④大西脳神経外科病院内 英明ホール